

## 2019年新年賀詞交歓会挨拶

会長  
森本 耕一郎

皆様、新年明けましておめでとうございます。本日は、日本ボンド磁性材料協会の賀詞交歓会にご出席いただき有難うございます。また日頃の協会活動に対するご支援に改めて感謝申し上げます。

この場には、「新春公開セミナー」でご講演いただきました永野博様にもご参加いただいています。先程は大変ありがとうございました。日本とドイツでは政治体制や歴史背景が異なるので、ドイツのシステムをそのまま適用することはできませんが、人の能力や専門性を重視し、人材養成は社会責務と考えるドイツの姿勢には学ぶべきことが多いと痛感しました。今後も色々ご教示いただきますよう宜しくお願いいたします。

さて、年頭にあたり協会の活動状況を簡単にご報告いたします。当協会の事業活動には3つの大きな柱がありますので、それに沿って述べます。

## I. 規格化・標準化の推進

当協会が2000年に制作したボンド磁石のガイドブックについて、その後の磁気測定技術の進歩に対応するため改訂を進めてきました。これが完成し、近日頒布予定ですので、その際は是非ご活用ください。軟磁性材料でも圧粉磁心のガイドブックの検討を始めました。この分野では初めての試みであり、今後の期待されます。

## II. 技術・その他情報の発信と啓蒙

技術例会、シンポジウム、軟磁性材料研究会、BM 寺子屋塾、新春公開セミナーといった一連の催しを計画通り開催し、多くの皆様にご参加いただきました。また子供向けの科学啓蒙イベント、東京タワー「キッズ環境科学博士」に昨年も参加し、永久磁石を使った玩具で磁石の不思議を体験してもらい大好評でありました。これには、会員企業に磁石製品のご提供などご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

以上の情報を満載した機関誌 BM News も予定通り2回発行できました。また情報発信という点では、ホームページのリニューアルも行いました。見やすく、使いやすくなっておりますので是非ご覧になって下さい。



## II. 生産統計の作成と配信

以下少し長くなりますが、2018年の日本国内メーカーおよび海外日系メーカーのボンド磁石の生産推計をご紹介します。最終報告はBM NEWSの4月号に掲載しますので、以下は速報とご理解下さい。

## (1) フレキシブルフェライトボンド磁石：

国内生産は、サーバ用ファンモータがかつての主力用途であったパソコン用ファンモータをしのぐ勢いで急増しました。また堅調な設備投資に支えられ、工場内自動搬送機などに使われるシリンダーの磁気センサも伸びました。マグネットシートもアイデア商品が開発され堅調に推移しました。海外日系の生産は前年から横ばいとみましました。

国内メーカー：	3,570 トン (105%)
	25 億円 (104%)
海外日系メーカー：	17 億円 (100%)

## (2) リジッドフェライトボンド磁石：

国内生産は、主用途であるマグロールが前年比ほぼ横ばいと思われませんが、エアコンの室外機ファンモータが好調であったため、総じてリジッドフェライトの需要は堅調であったと思われる。海外日系の生産は、国内生産に比例して推移したとみられます。

国内メーカー：	7,700 トン (105%)
	119 億円 (105%)
海外日系メーカー：	96 億円 (105%)

## (3) 希土類ボンド磁石：

国内生産は、主用途である車載アクチュエータ・センサやロボットをはじめとする産業機器用途が堅調であり、また新規開発にも活発な動きが見られました。海外日系の生産もモータ関連を中心に堅調でありました。

国内メーカー：	1,630 トン (106%)
	320 億円 (106%)
海外日系メーカー：	670 億円 (110%)

なお、希土類ボンド磁石の国内と海外日系の合計金額は990億円となり、1,000億円の台に乗りつつあると言えます。

また国内の生産重量1,630トンの材料別内訳は、等方性NdFeBが730トン、異方性SmFeNが500トン、HDDRの異方性NdFeBが400トンとみられます。

これらより、ボンド磁石の総計は次の通りになります。

国内メーカー合計：	12,900 トン (105%)	464 億円 (106%)
海外日系メーカー合計：	783 億円 (110%)	
国内・海外日系合計：	1,247 億円 (108%)	

以上が生産推計のご報告であります。昨年は総じて堅調であったと言えます。

本年は年号も改まり、新時代への期待感がある一方、皆様よくご存じのように、世界的に景気が減速するとの予測があります。また米中対立の一層の激化や日米貿易交渉の成り行き不安など、大きなリスクもあります。従って、この一年、緊張感をもって臨まなければなりません。そういった中でも長期的な視野に立って着実に歩みを進めていきたいものです。

我々の業界が幸いなのは、対象とする市場が確固たるもので、長い目で見れば確実な成長が期待でき、またそれを達成するための方向性が明確である点であります。自動車の電動化やロボティクスの進展において、効率や制御性の良さから、永久磁石を用いたモータ・アクチュエータが今後益々多く使われます。また各種電力変換装置では、小型化・省エネルギー化の観点から、磁束密度が大きく損失が小さな軟磁性部品が大量に必要になります。我々は、代替技術があまりない、このような分野を対象にしているので、その土俵の上での生き残りは、やはり、特長ある独自の技術とこれを展開できる経営の知恵にかかっていると言えます。

当協会は、その一助になれることを目指し、本年も、会員の皆様のお役に立つ情報の発信元として、また会員同士のネットワーキングの結節点として機能できるよう努めてまいります。本年も本協会へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝と益々のご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。有難うございました。